

集会宣言

政府は、昨年12月末にムダな公共事業の象徴である「ハッ場ダム建設再開」を決定し、その他のダム、高速道路、リニアなどの予算や計画も次々と復活・承認してきました。「コンクリートから人へ」など多くの公約を無視して増税を目指す政府に、国民の怒りは頂点に達しています。

事業復活や原発再稼働の動きの背景には、河川ムラ・原子カムラに象徴される利権構造があります。その一翼をにない、事業にお墨付きを与えてきたのが、いわゆる御用学者から成る諮問機関です。原発やダム等の現地・予定地では、反対勢力を押しつぶすために、国家権力が長年、アメとムチを駆使し、地域経済、地縁・血縁の中で反対の声を容易に上げられない抑圧的な社会をつくってきました。

私たちは、国民の血税を一部の人々の利益のために吸い上げるこうした仕組みを根本から改革することが不可欠であると考えます。事業の妥当性を厳しくチェックすべき体制を整えない限り、有害無益な事業を止めることはできません。

ハッ場ダム本体工事の予算執行については、二つの前提条件が付けられました。利根川水系河川整備計画の策定とその目標流量の検証、及び「ダム中止後の生活再建支援法」の今通常国会への提出です。河川整備計画策定に関わる有識者会議が公正に設置・運営され、住民の意見を反映することが、ダムによらない治水計画の策定につながります。また、生活再建支援法は、政策転換による地元住民への影響を軽減させる重要な法律です。

そのような問題認識に基づき、私たちは次の事項の実現を求めます。

1 大型公共事業の予算削除等

- (1) ハッ場ダム本体工事の予算削除、長崎県・石木ダム、山形県・最上小国川ダムなどの問題
ダム事業の予算削除
- (2) 泡瀬干潟など湿地干潟埋め立て事業の予算削除、諫早潮受け堤防の即時開門
- (3) 40年間建設しなかった東京外環道路、国定公園高尾山を破壊する圏央道、その他都市計画
道路など大型道路建設の予算削除
- (4) 原発の再稼働中止および核燃料サイクルからの撤退

2 事業検証等のあり方の抜本的な改善

- (1) 公共事業の是非を、結論ありきではなく、ゼロベースで検証すること。
- (2) 事業に批判的な専門家・住民が半数参加した検証委員会を設置し、利益相反委員を排除すること。
- (3) 検証委員会の会議はすべて公開し、傍聴者に発言の機会を保証すること。
- (4) 検証委員会の事務局は事業者ではなく第三者とし、検証委員会の指示に基づいて運営すること。
- (5) 検証が完了するまで、検証対象事業の工事を凍結すること。

3 利根川水系河川整備計画の策定における、先駆的事例「淀川水系流域委員会方式」を基本にした専門家と住民混成の有識者会議の開催。

4 ハッ場ダムをはじめ、地元住民の生活再建に真に資する「ダム中止後の生活再建支援法」の早期成立。

以上、本日の集会に賛同するすべての団体の総意としてここに宣言する。

2012年2月23日

「ハッ場ダム建設再開は許さない!! Part2 ～原発・ダム・道路・干拓・利権^{ムラ}集団を肥やす予算にSTOPだ!～」参加者一同

「ハッ場ダム建設再開は許さない！！Part2 ～原発・ダム・道路・干拓・・・利権集団を肥やす予算に STOP だ！～」

実行委員会 構成 9 団体

ハッ場ダムをストップさせる市民連絡会、ハッ場あしたの会、ダム検証のあり方を問う科学者の会、原子力資料情報室、全国自然保護連合、ラムサール・ネットワーク日本、道路住民運動全国連絡会、水源開発問題全国連絡会、外環道7区市ネットワーク（外環ネット）、

「ハッ場ダム建設再開は許さない！！Part2 ～原発・ダム・道路・干拓・・・利権集団を肥やす予算に STOP だ！～」

賛同団体

市民のひろば(大阪府)、海上の森野鳥の会(愛知県)、設楽ダムの建設中止！名古屋の会(愛知県)、自然の灯をともし原発を葬る会(鹿児島県)、STOPハッ場ダム・市民ネット(群馬県)、あすの榎尾川を考える会(大阪府)、平和食堂・吉田屋(東京都)、希望社会研究会(東京都)、美しい錦川を未来へ手渡す会(山口県)、ピースウォーク山口(山口県)、ニセコの粉雪を守ろう会(北海道)、立川・生活者ネットワーク(東京都)、農民運動茨城県連合会(茨城県)、渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会(栃木県)、ふるさとの清津川を守る会(新潟県)、石木川まもり隊(長崎県)、設楽ダムの建設中止を求める会(愛知県)、霞ヶ浦導水事業を考える県民会議(茨城県)、茨城県の水問題を考える市民連絡会(茨城県)、水道事業を考える土浦市民の会(茨城県)、子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会(熊本県)、石木ダム建設絶対反対同盟(長崎県)、環境会議・諏訪(長野県)、成瀬ダムをストップさせる会(秋田県)、天草・路木ダムの再検証を求める全国連絡会(熊本県)、寒霞渓の自然を守る連合会(香川県)、肱川漁業協同組合(愛媛県)、大洲市の住民投票を実現する会(愛媛県)、長浜町をまじめに考える会(愛媛県)、最上小国川の清流を守る会(山形県)、ウォーターワッチネットワーク(山形県)、相模川キャンペーンシンポジウム(神奈川県)、兼六園と辰巳用水を守り、ダム建設を阻止する会(石川県)、太田川ダム研究会(静岡県)、長良川市民学習会(岐阜県)、導水路はいらない！愛知の会(愛知県)、北海道の森と川を語る会(北海道)、NPO 法人伊賀・水と緑の会(三重県)、日本湿地ネットワーク(埼玉県)、千葉県自然保護連合(千葉県)、ダム反対鹿沼市民協議会(栃木県)、東久留米湧水・清流保全条例研究会(東京都)、千葉の干潟を守る会(千葉県)、大阪府安威川の治水を考える流域連絡会(大阪府)、有明海漁民・市民ネットワーク(長崎県)、築川のダムと自然を考える市民ネットワーク(岩手県)、環瀬戸内海会議(愛媛県・香川県・兵庫県・岡山県・広島県・山口県)、日本山妙法寺(東京都)、利根川の水と自然を守る取手連絡会(茨城県)、NPO 法人アサザ基金(茨城県)、美しい球磨川を守る市民の会(熊本県)、球磨川・川辺川を未来に手渡す郡市民の会(熊本県)、市民ネットワーク千葉県(千葉県)、泡瀬干潟を守る連絡会(沖縄県)、石木ダム建設反対連絡会(長崎県)、思川開発事業を考える流域の会(栃木県)、リニア・市民ネット（東京都・山梨県・長野県）、溪流保護ネットワーク・砂防ダムを考える(長野県)、水と緑の会(長野県)、鳥海ダムと市民生活を考える会(秋田県)、市川緑の市民フォーラオ(千葉県)、利根川・江戸川流域ネットワーク(千葉県)、都道小平 3・3・8 号線計画を考える会(東京都)、新しいつくばを創る市民の会(茨城県)、群馬県平和運動センター(群馬県)、国労高崎地方本部(群馬県)、新山梨環状道路北部区間反対連絡協議会(山梨県)、みどり・山梨(山梨県)、群馬の明日をひらく革新懇話会(群馬県)、玉川峡(紀伊丹生川)を守る会(和歌山県)、まつど雨水の会(千葉県)、三番瀬を守る署名ネットワーク(千葉県)、新日本婦人の会群馬県本部(群馬県)、首都圏道路問題連絡会(東京都)、高尾山の自然をまもる市民の会(東京都)、伊賀の特別天然記念物オオサンショウウオを守る会(三重県)、肱川・水と緑の会(愛媛県)、平和・民主・革新の日本をめざす取手の会(茨城県)、原発いらない千葉(千葉県)、水と森の保全を考える・かわうそ倶楽部(東京都)、グリーンアクションさいたま(埼玉県)、やどりき水源の森ワーク(神奈川県)、虔十の会(東京都)、越谷サステナの会(埼玉県)、那珂川ネットワーク鶴亀隊(栃木県)、流域の自然を考えるネットワーク(北海道)、三番瀬を守る会(千葉県)、多摩の地下水を守る会(東京都)、東京生活者ネットワーク(東京都)、フォーラム平和・人権・環境(東京都)、全日本水道労働組合(東京都)

北海道脱ダムをめざす会(下記構成団体)(北海道)

(社)北海道自然保護協会(北海道)、十勝自然保護協会(北海道)、北海道自然保護連合(北海道)、富川北一丁目沙流川被害者の会(北海道)、平取ダム建設問題協議会(北海道)、苫小牧の自然を守る会(北海道)、ユウパニコザクラの会(北海道)、イテキ・ウエンダム・シサムの会(北海道)、胆振日高高校退職教職員の会(北海道)、自然林再生ネットワーク(北海道)、下川自然を考える会(北海道)、サンルダム建設を考える集い(北海道)、環境ネットワーク旭川地球村(北海道)、大雪と石狩の自然を守る会(北海道)、旭川・森と川ネット21(北海道)、当別ダム周辺環境を考える市民連絡会(北海道)

合計 108 団体 2012 年 2 月 10 日 現在